



市長とランチミーティング②

イベントで石垣島を盛り上げたい！

第21回「市長とランチミーティング」は3月7日(水)に「石垣市商工会青年部」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

中山市長 本日はランチミーティングに参加いただきありがとうございます。石垣市商工会青年部は、一番石垣市の活性化の為に力を発揮している団体だと思っています。よろしく願います。

那良伊副部長 青年部の活動について紹介します。「商いラヂオ」というラジオ番組を毎週日曜日の午後6時から放送しています。地元の商いを応援しましょうという事で毎週色々な事業所からゲストを招き事業所の紹介やイベントの紹介などを行っている番組です。昨年の9月、10月には石垣島夜市を開催しました。続けて開催したかったのですが道路使用の問題など色々ありまして連続開催できない状況ですが、また暖かくなると観光客が増えてくる夏場にまた開催してみようかなと思っています。石垣島はどうしても昼間の観光というイメージがあり、夜はあまりやることが無い、行くところがないという事を危惧しておりまして、台湾など夜市を開催しているところを参考にして石垣の夜の目玉づくりができたらと思っています。他には経営活性化セミナーやフェイスブックの活用セミナー、ロケットキャンプの時には

星まつりですね。企画段階ですが婚活の様なイベントができたら面白いなと考えています。本土からツアーで石垣島にやってくる星まつりで出会うって結ばれるという様な街コン的な企画を考えています。祭り会場で出会うって、イベント終了後は街の飲食店などへ流れるという形で、商工会青年部の方から良いアイデアがあれば聞かせてください。

吉村企画部長 実は、以前に観光協会青年部の方にも話をしているんですが商工会青年部も一緒に企画に参加して欲しいと考えています。旅行代理店でこのような婚活の商品を扱っている所もあるようなので、一緒に企画を練って商品化させていきたいと思っています。できれば、バラエティ番組などにも取り上げてもらって話題作りが出来れば石垣島もアピールできると思います。

知念観光交流推進課長 星祭り会場だけではなくて、婚活ツアーに参加する参加者をバスに乗せて石垣島観光をしながら商工会会員の施設の回ってもらいながら交流をしてもらってムードを盛り上げてもらえればいいと思っています。

中山市長 この企画をメディアに取り上げてもらう事で、南の島の星まつりをPRすることが第一の目的ですが、婚活企画を通して出会った方達が石垣にまた訪れたりトリビートにもつながればいいなと思っています。

那良伊副部長 この様なイベントをするときには、どこかの青年部単独とかではなくて地元の各団体の青年部をみんな巻き込んで青年会議所も観光協会も商工会も建設業協会もみんな力を

合わせればけっこうな力を発揮できるんです。各団体の青年部の意見も聞きながらイベントを行うことが成功への近道だと思っています。

会員 各団体ともに得意、不得意がやっぱりあると思うので、それぞれの得意分野をうまく活用していければいいと思います。観光協会さんも一団体では不安だと思うので、各団体が協力していけば問題ないと思います。

吉村企画部長 私が思うのは、このような話は観光協会や商工会の若いみなさんから「こんな企画を一緒にやりましょう！」という声があがってくるのが一番良い事だと思っています。行政側から「みなさんどうですか？」というよりも民間の若い皆さんの方から声が出る事が理想だと思います。

中山市長 本来、行政が企画を立てて観光協会や商工会にみなさんがサポートする形ではなくて、みなさんから企画・提案してもらって行政にサポート・バックアップして欲しいかと言ってくるくらいがいいと思います。

那良伊副部長 そういう点では、我々商工会の部員も含めて、民間で行っているイベントの一環として特産品を広くPRしたいという思いで組織を作り銀座わしたショップや有名デパートなどでPRイベントを行ってきました。観光大使の夏川みさんと呼んで石垣島をPRしてもらったという事もしてきました。今年は特産品だけではなく、観光も絡めていこうという動きもあります。石垣島は他にも伝統芸能やプロ野球キャンプなどがあります。今回、話の拳がっている婚活などを行政と一緒にやって石垣島をPRしていければいいですね。

吉村企画部長 我々も特産品と観光のPRは非常に重要なものだ認識しています。平成24年度の予算にもしつ

かりと反映させていますし、特産品と観光は常に一緒になって全国に発信していこうと考えています。

那良伊副部長 これまでは、それぞれが単独でいろんな所に行つて、八重山のPR活動をしていて、それには莫大な費用と時間を費やしてきました。今まで自分たちがやってきた事を、やっとならして民間と行政が一体になってやっているので、今後は「これをやりたい、あれをやってみよう」という声をどんどん表に出していきたいと思っています。そうすることで、若い経営者達の今後の展望が開けて、力になっていくのだと思います。環境は良くなってきたので、これからもっと面白いことをどんどんやっていこうと思っています。

